



介護あんしん 相談員だより

第39号 平成31年3月発行
発行：鳥栖地区広域市町村圏組合
(介護保険課 地域支援係)
連絡先：0942-81-3111

介護あんしん相談員は橋渡しをします！

施設に入居していると、ちょっとした不満や不安があっても、直接スタッフに言うことを遠慮してしまうことがあります。介護あんしん相談員はご本人やそのご家族が施設職員に直接は言いにくいことをお聞きしたり、客観的な目で見えたりした点を施設側に伝えて問題の解決をはかります。



利用者さんや介護あんしん相談員の声からいくつかご紹介します
(平成30年12月・平成31年1月)



～介護あんしん相談員の声より～

相談員：Kさんは職員さんと一緒に、ホールで椅子からの立座りの訓練をされていました。

施設：PTさんから指導していただいたメニューを継続しています。

【鳥栖地区広域市町村圏組合より】



こちらの施設では、協力病院から月に2回PT（理学療法士）さんに来ていただきリハビリを受けられていたようですが、病院の職員体制の都合で1月からしばらく中止になっているそうです。

このまま何もしないと利用者様の機能低下が進むのではないかと職員さんが心配され、PTさんから教えていただいた個別メニューを継続されているそうです。

やはり職員さんの見守りが無いと、利用者様一人で訓練するのは転倒の危険などがありとても難しい事ではないかと思えます。

リハビリの個別メニューを継続することによって、自分の足で歩いてトイレに行くことができるようになったり、掃除など簡単な身の回りのことができるようになれば、利用者様の尊厳を守っていく事にもつながっていくのではないのでしょうか。

いつも利用者様に寄り添って支援していただき、ありがとうございます。



～利用者様の声より～

利用者：働かせてもらって、ありがたい。

施設：歩いて物を運んだりできる方なので、スタッフが衛生管理には気をつけたうえで、お手伝いをしてもらっています。

【鳥栖地区広域市町村圏組合より】



相談員が訪問時、利用者様は食事で使うお茶やおしぼりを配る手伝いをされていて、とても嬉しそうに「働かせてもらって、ありがたい。」と話されたそうです。

施設に入所したら、昨日まで普通にしていた事をしなくても良い環境になりますが、「楽だなー」ではなく、日常生活の中で役割を持つことの方がこの利用者様にとっては嬉しい事だったようです。また、施設の職員さんは、利用者様に必ず感謝の言葉を伝えるようにされているそうです。このようなコミュニケーションを惜しまないことが、施設での生活を心豊かなものにするのでしょうね。

利用者様によって育って来られた時代背景や環境などがそれぞれ違う中で、施設の職員さんは利用者様への個別対応が必要になってくるかと思えます。利用者様の役割を上手く見つけていただきありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。

利用者：大阪から来て心配したが、ここに来て本当によかった。

施設：これからもそう言っていただけるよう努めます。

【鳥栖地区広域市町村圏組合より】



こちらの利用者様は、大阪から親族のいらっしゃる九州の施設へ入られたそうです。

九州の言葉や風習を知らないことや、自分の言葉が相手にきちんと伝わるか分からないことなど、慣れない環境や意思疎通への大きな不安があったのかもしれないですね。

施設の職員さんが利用者様の気持ちに寄り添い、利用者様同士の橋渡しをしてくださっているのでしょうか。今は不安無く過ごしていただいているようです。

利用者様からの「ここに来て本当によかった。」という言葉は、施設にとって最高のほめ言葉ではないでしょうか。

他の施設にも、このように遠方から来られた利用者様がいらっしゃるかもしれませんね。

いつも十分にご配慮をいただいているかと思いますが、今後ともよろしくお願いいたします。



鳥栖広域 相談員だより

検索

鳥栖地区広域市町村圏組合のホームページで、今までの「介護あんしん相談員だより」を閲覧することができます。ご利用ください。